

# 会 議 録

平成 28 年 12 月 26 日作成

審議会等名	平成 28 年度 第 4 回 社会教育委員会議及び公民館運営審議会		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 28 年 11 月 29 日 (火) 午後 7 時～ 9 時		
開催場所	三条市中央公民館 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (12人)	小林 斉子委員 (議長) 丸山 正夫委員 (副議長) 村田 洋子委員 倉品 章委員 阿久津文雄委員 鈴木千佳子委員 土屋 文舟委員 高橋 清委員 米山 文子委員 橘 孫三郎委員 石黒 正晴委員 佐藤 英夫委員	
	職員 (8人)	金子生涯学習課長兼中央公民館長 内山本成寺公民館長 山田大崎公民館長 田中大島公民館長 佐藤井栗公民館長 阿部生涯学習課課長補佐兼中央公民館館長補佐兼嵐南公民館長兼東公民館長兼 栄公民館長兼下田公民館長 阿部生涯学習推進係長 比嘉一般任用主事	
報告事項	なし		
議 題	(1)平成 29 年度生涯学習事業等の方向性について		
	(2)平成 28 年度公民館利用率概算数値について		
	(3)施設計画の基本的な考え方に対する意見集約について		
	(4)その他		
会議内容	別紙のとおり		

小林議長	<p>これより、平成 28 年度第 4 回社会教育委員会議及び公民館運営審議会を開催します。</p> <p>始めに、金子生涯学習課長から御挨拶をお願いします。</p> <p>&lt;金子課長挨拶&gt;</p>
小林議長	<p>それでは議題に沿って進行します。事務局から配布資料の確認をお願いします。</p>
阿部係長	<p>&lt;配布資料の確認&gt;</p> <p>①次第</p> <p>②座席表</p> <p>③平成 28 年度きっかけの 1 歩事業の取組状況について <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No. 1</span></p> <p>④平成 28 年度公民館事業の取組状況について <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No. 2</span></p> <p>⑤平成 29 年度重点施策について <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No. 3</span></p> <p>⑥平成 28 年度公民館利用率概算数値について <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No. 4</span></p> <p>⑦施設計画における重ね使いの考え方 <span style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;">資料No. 5</span></p> <p>⑧公民館月報 11 月号</p> <p>以上</p>
小林議長	<p>本日は追加議題として、(3) 施設計画の基本的な考え方の資料が皆様のお手元に届いておりますが、意見集約が必要になりましたので後程議題とさせていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>それでは議題に入ります。議題 (1) 平成 29 年度生涯学習事業等の方向性について、①平成 28 年度きっかけの 1 歩事業の取組状況について、②平成 28 年度公民館事業の取組状況について、③平成 29 年度重点施策について、事務局から一括して説明していただきます。説明後、質疑を受けたいと思いますのでよろしくお願いします。</p>
阿部係長	<p>①平成 28 年度きっかけの 1 歩事業の取組状況について、②平成 28 年度公民館事業の取組状況について、③平成 29 年度重点施策についてを説明</p>
小林議長	<p>今ほどの説明ついて、皆様の忌憚のない御意見ををお願いします。</p>
丸山副議長	<p>③平成 29 年度重点施策ですが、ほぼ継続事業の中で (5) 文化・芸術の一番星育成事業だけが拡大となっています。どのように拡大されるのでしょうか。</p>
金子課長	<p>文化・芸術の一番星育成事業は今年度 3 年目を迎えました。文化・芸術分野の技術向上を目的とした子どもたちを対象に、受講料や大会参加費等</p>

	<p>に対して2分の1の支援をさせていただきました。また、国立音楽大学からの講師によるピアノ教室と武蔵野美術大学からの講師によるデッサン教室を実施しました。12月4日（日）にはピアノ教室受講者らによる一番星コンサートを当館大ホールで午後2時から行います。来年度は更なる拡大ということで、実施コースの増加や変更を検討しているところでございます。</p>
丸山副議長	<p>ピアノ、デッサンの他に更にコースを増やすということですか。また拡大ということは人員枠についても拡大されますか。</p>
金子課長	<p>人員枠の拡大については検討中です。コースの増加については、音楽関係になると思いますが、視点を変えて、大学等の受験で参考になるようなコースを考えています。</p>
小林会長	<p>この平成29年度の重点施策は一番星事業のみ拡大、それ以外は継続ということですが、全ての事業に対し、検証はなされましたか。 特に（2）下田郷の歴史遺産再発見事業は、平成28年度事業で検証ができなかったから継続になったと思いますがいかがですか。</p>
金子課長	<p>検証についてですが、下田郷のいしぶみは、地域の方々の情報を得ながら記録をまとめているところです。いしぶみが大変多く情報がなかなか入ってこないという状況です。昨年から各集会所に出向いて、きっかけの1歩事業「ただふるさとシアター」と併せて「下田のかたりべ」事業を実施しているところですが、その際に、地元の方々から地域に存在するいしぶみの有無や由来などの情報の聞き取りをして調査しております。もう1～2年ほどかかると思われます。もう1つは、吉ヶ平の民具の調査でございますが、こちらの調査も今年度いっぱいかかるものと見込んでおります。</p>
村田委員	<p>新規事業が1件あるようですが、どのような分野の事業になるのか今ある構想をお聞かせいただけますか。</p>
小林議長	<p>今ここに記載されているのは、継続、拡大だけですが、新規事業もあるのかという御質問ですがいかがでしょうか。</p>
金子課長	<p>新規事業につきましては、予算要求の段階でございますので御理解をお願いいたします。決まり次第、御報告をさせていただきます。</p>
小林議長	<p>今はまだ具体的なことは話せないが、もう一つ重点施策事業に取り組みますというお話であると思っておりますのでこれは御期待申し上げます。 きつ</p>

	<p>かけの 1 歩事業については、公民館月報 9 月号を御覧になったと思います が、阿部係長が神奈川県相模原市で開催された、第 56 回全国公民館研究集 会神奈川大会で発表されました。皆さまから好評を得て、集中的に質問や お褒めの言葉をいただきましたので報告します。</p>
橘委員	<p>きっかけの 1 歩事業ですが、これは来年度も継続されるのでしょうか。 1 年で終了するものもあれば新規に追加されるものもあつたりするの でしょうか。</p>
金子課長	<p>平成 27 年度から取り組み、9 公民館が当初は各 3 事業の計 27 事業以上 を実施することでスタートしました。今年度はそれを倍に増やし各公民館 が各 6 事業の計 54 事業を実施しています。そうした中で各公民館によつて は 1 年で終了した事業もあれば新規事業に取り組んだところもあります。</p>
米山委員	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 No. 1</span>に「きっかけの 1 歩事業全体スキーム」がありますが、平成 27 年度で第 2 ステージ、平成 28 年度に第 2.5 ステージときて最終的にあ と何年で第 4 ステージの「担い手・支え手」に到達するのでしょうか。</p>
金子課長	<p>今年度は、第 2.5 ステージまでの取り組みを行つています。来年度は更 に第 3 ステージに引き上げる取り組みを中心に、今までの第 2 ステージの きっかけの 1 歩事業に取り組む予定でございます。</p> <p>例えば、中央公民館で毎週金曜日に活動しているあおぞら縁台将棋は、 第 3 ステージの活動と言えますのでこのように、徐々に第 2.5 ステージか ら第 3 ステージへ進めていければと思います。</p>
米山委員	<p>私の質問が悪かったかもしれませんが、つまりこれだけたくさんの事業 があるわけですが、これら全ての事業を第 3 ステージまで引き上げていく というお考えなのでしょうか。</p>
金子課長	<p>全ての事業で引き上げていくということではございません。まずはこれ まで公民館ではやったことがない事業を通じて外出の機会を創出し、社会 参画を促すこと、また公民館での活動を知ってもらいそれぞれ自分にあつ たコースを見つけていただき、私たちもその助けをさせていただきながら お声掛けをさせていただいて第 2.5 ステージや第 3 ステージに導いていき たいと思つておりますが、必ずしも参加された方々全員をとついうわけでは ありません。</p>
小林議長	<p>結局、このきっかけの 1 歩事業は何年かかるといった取り組みではない ということをはっきり申し上げなくてはならないと思います。この事業は、 外出機会のきっかけの 1 歩であつて、公民館に継続的に足を運んでもらう</p>

	<p>ことにつながらなくても地域やもっと違った場面で活躍の場を見いだすことが、そもそもきっかけの1歩の成果であるという位置づけをされているということのお答えでよろしいと思います。</p>
金子課長	<p>ありがとうございます。小林議長がおっしゃられたことがきっかけの1歩事業の目指すべき姿そのものでございます。</p>
小林議長	<p>他にありますか。</p>
高橋委員	<p>各公民館できっかけの1歩を含めたくさんの事業をされていて対象も高齢者から子どもまでといろいろありますが、詳細を見るとお互いが交流するような事業がいくつかあるようです。例えば、栄公民館のおもちゃ教室や井栗公民館の一日体験小学生といった世代間を超えて一緒に交流できる事業があれば、更に外出意欲の創出につながるし、地域の活性化にもつながると思います。</p>
金子課長	<p>御意見ありがとうございます。今、きっかけの1歩をメインに外出機会の創出を展開していますが、もともと公民館として地域のつながりやコミュニティを大事にする事業を運営していくことも必要なことだと思っています。世代間の交流機会もその1つだと捉えていますので、今後はそういったことも進めていきたいと思っています。</p>
土屋委員	<p>きっかけの1歩事業に参加した方が、ステージが上がっていくにつれて自主運営をするようになって、そういう方々から今後はもっとこういうことがしたいとか、こういうことが得意だと、または、せっかくだから色々な人に声をかけて集めたいというようなことになった場合は、公民館では支援や場所の提供といったその先に踏み込んだサポートを考えているのでしょうか。</p>
金子課長	<p>地域の方々が集まって何かをされたいというのは大切なことだと思っています。きっかけの1歩についても、これだけの事業を公民館職員だけでこなしていくのは限界がありますので、協力していただける方々を取り込んで新たな事業が増えていけば公民館の来館者も増加し、活動も活発になるものと思います。来年度の課題になると思いますが、事業の構築等といったことはきっかけの1歩事業の参加者などから御意見をお聞きしながらできることを検討していきたいと思っています。</p>
土屋委員	<p>公民館にどんどん提案していけばいいのでしょうか。</p>
金子課長	<p>ぜひ多くの提案をしていただき、できることはきっかけの1歩事業で取</p>

村田委員	<p>り組みたいと思います。</p> <p><b>資料 No. 1</b>の「きっかけの1歩事業全体スキーム」に社会参画活動とありますが、これはそれぞれが育って自主的な運営の姿を見せていくことが社会参画活動ということなのではないでしょうか。この社会参画活動の姿をどんなふうに捉えているのか、どういうふうに捉えればよいのでしょうか。</p>
小林議長	<p>先ほど土屋委員がおっしゃったのは、きっかけの1歩事業をやりながらその地域の中で共通項を持った仲間ができたりしたときに、公民館としてどういった手助けができるかということだったと思います。また村田委員の質問には社会参画という言葉が出ましたけれども、公民館活動やきっかけの1歩事業の体験を通じて社会参画活動の意欲がそこで生じてくるわけです。それは、いろいろな形やパターンがあると思いますが、それを公民館との関係の中で参加した人たちが自分の思いを明確にしながらか、それぞれの社会参画活動に進んでいってもらえばよいのではないかとと思うところですがそのように考えてよろしいのでしょうか。</p>
金子課長	<p>今ほど小林議長が言われたとおり、公民館とのつながり、関係の中で、参加者はそれぞれの社会参画活動へ踏み出していただければと考えております。</p>
村田委員	<p>すごく多岐に渡るし、すごく支援もきめ細やかになってくることも予想されるのではないのでしょうか。</p>
小林議長	<p>もちろん公民館の支援も含めてですが、各々が自主的に主体的に活動しなければならぬ部分もありますというところは明確にしなくてははいけないと思います。</p>
金子課長	<p>地域の方が講師になってきっかけの1歩事業で参加するなど反映できる場所があれば、また御意見をいただきながら反映していければと思います。</p>
小林議長	<p>他にございますか。</p>
石黒委員	<p>先ほど土屋委員から地域の提案があればそれを取り上げていただけるという話でしたけれども、例えば、私が住んでいる地域にある三条東公民館は比較的稼働率が高いのですが、そういった所でもやりたい活動を提案すれば、必要な道具、機械、チャンスは用意してもらえるのでしょうか。公民館事業で取り上げてもらえれば貸していただけるのでしょうか。自治会でカラオケ機器を貸してほしいと頼んだが、断られた経緯があります。</p>

金子課長	<p>公民館を多くの人に利用してもらうため、きっかけの1歩事業でカラオケイベントがあります。カラオケ機器をリースしていますがあくまで公民館事業で使うものなので地域で活動されるものについては、地域の方々の中で用意していただければと思います。公民館でも協力できる場所があれば協力したいと思います。三条東公民館はおっしゃるとおり色々な事業がありますので提案を頂いた中で事業化できるかどうかも含めて検討していければと考えております。</p>
増田委員	<p>資料を見ると子どもたちが参加する事業が多くあるが、申込み方法は学校を通して募集しているのでしょうか。</p>
金子課長	<p>公民館全体の広報に関しては、広報さんじょうや公民館だより等を配布させていただいております。また各公民館のホームページでも掲載しています。特に子どもたちの事業に関しては、小学校を通してチラシを配布したりもしています。</p>
小林議長	<p>議題(1)についてはよろしいでしょうか。次に議題(2)平成28年度公民館利用率の概算数値についてであります。先回の会議で丸山委員のほうから公民館利用率を示していただかないと理解がしにくいし、張り合いの部分についても皆さんが頑張る力になりえないのではないかという発言をいただきまして、この利用率の概要数値が出たわけです。各公民館の方々も子どもの遊び場として夏休みの開放であったり、総合体育館閉鎖に伴い譲り受けた卓球台を活用したりして利用率アップにつながったのではないかと思います。より具体的に数値目標をここで示していただきたいと思っておりますので、事務局の説明をお願いします。</p>
阿部係長	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">資料 No. 4</span> 「平成28年度各公民館利用率 概算数値」を説明</p>
小林議長	<p>7月に「三条市公共施設再配置計画」に基づいて、個々の利用状況等が10%に満たない場合は廃止及び解体も検討する施設ということで井栗公民館と大島公民館が対象とされました。この結果を受けて、公民館から大変な努力をしていただき、また地域住民の皆様にも、この実態を踏まえた中で、御協力いただいたことで公民館活動に結び付いた結果だと思っております。</p> <p>また、その他の公民館も刺激されたように、総じて利用率が上がったと思います。夏休みの子どもの遊び場開放については、本来の公民館事業なのかという疑問もあろうかと思います。結果としてこうした結果が出たことは、大変喜ばしいことで、これを継続していくことは、また難しい面もあろうかと思っておりますが、それらも含めて皆様から御意見をいただきたいと思っております。</p>

土屋委員	その前に1つ質問ですが、大崎公民館は5部屋となっていますが調理室も入っているのでしょうか。
山田館長	もちろん含まれています。
土屋委員	調理室は、なかなか利用の範囲が限られるので、非常にハンデを背負っているように感じますが、他の公民館も同じなののでしょうか。
小林議長	大島、井栗公民館もありますよね。地区公民館はほぼ調理室があります。特別大崎公民館だけがハンデということではないです。
山田館長	地区公民館は、そういう形で活用したいという要望があったため設置していただいた経緯があります。しかしながら、こうした利用率の数値になると弱い部分があります。
小林議長	夏休みが終わって、2学期以降の子どもの利用率はいかがですか。
阿部係長	2学期の子どもの利用状況でございますが、10月末までで井栗公民館が述べ人数で58人、本成寺公民館が7人、大崎公民館が70人、大島公民館が149人、合計で284人となっております。
倉品委員	総時間数について確認しておきたいのですが、これは部屋を活用した時間ということでしょうか。
金子課長	そうです。
倉品委員	そうすると例えばバスで市外に研修に行ったとか、この前の井栗小学校で行った授業といった場所を変えて実施した事業についてはカウントされないということでしょうか。
金子課長	この場合の計算方法は、部屋をどのくらい使ったかという計算になりますので館外で行った事業につきましては計算に含まれていません。
倉品委員	それがおかしいと思います。あくまでも事業を主体に考えていかないと部屋を分母で割ったものでは意味がないと思います。それから、このきっかけの1歩も3年目ですし、会場は公民館の部屋だけではなくて、もっと飛び出すような事業を考えてもらい、きっかけの1歩事業も含めてそういった視点で考えていくことが大事だと思います。



金子課長	<p>倉品委員のおっしゃるとおりだと思っています。公民館だけでなく外に飛び出していくことにより公民館活動に興味を持っていただくことにもなります。ただし、利用率の概算を計算することにおいては、「三条市公共施設再配置計画」において一定の線を引く必要があり、建物に特化して利用があるかないかというところが目安となっているため館外での事業は利用率に入らないことになってしまっています。</p>
倉品委員	<p>その観点からというのは十分理解できますが、やはりこれからは公民館内だけでなく外に飛び出すような事業を考えてもらい、新たに整備された大きな公園や学校などで活動する事業を期待しています。利用率に反映するには難しいと思いますが、把握していただきながら事業を展開してもらいたいと思います。</p>
小林議長	<p>公共施設再配置計画ができた時に示された数値がこの計算方法でした。 公民館事業そのものがこの数値でカバーできるものではないと関係委員会で皆様の思いを込めて発言してきましたが、聞き入れてもらえなかった経緯があります。今、倉品委員が発言されたことは、本来の公民館のあるべき姿を考えた時に、果たしてこのような利用率の計算方法でよいのかということをお伝えしたいと思います。</p>
阿久津委員	<p>先般もお話させていただきましたけれども夜の時間の活用も大事だと思います。地区公民館では、鍵を借りることが負担になるのでボランティア等で対応していただける話もありましたのでよろしくお願ひしたいと思います。</p>
金子課長	<p>おっしゃられたとおり、暗いと行きにくいという意見もありましたので灯りのついた公民館という検討も今後していきたいと思っています。</p>
佐藤委員	<p>逆行する意見かもしれませんが、本館につきましてはまずまずの利用がありますのでこれを今後、更にどうしていくかということころを考えていく必要があると思いますが、分館については多分どこの公民館でもお荷物になっているのではないのでしょうか。逆に地域の人たちに開放したような方向に持っていく方が私はベターではないかと思います。公民館の枠を外れて地域の利用したい人が鍵を自由に借りて誰でも気軽に利用できるような形に変えたほうが私はよい気がしています。</p>
金子課長	<p>分館については今後どういった運営をしていけば良いか、大きな課題になっています。利用率向上の部分については地区公民館職員が中心となって検討しており、今後まとめあげた中で皆様にお諮りをさせていただく必要があるかと思っています。</p>

佐藤委員	<p>もう1ついいですか。本館では各事業が終わった後にそれぞれアンケート調査を実施していると思います。それを例えばその地区ごとの全戸や抽出で幅広い住民から公民館に対してどういう事業をやってほしいかという住民アンケートをとって、地域の要望をデータ化して、今後はより具体的に事業計画を進めていくことも、公民館の利用率につながる方策になると思います。</p>
金子課長	<p>アンケートは講座に参加した方を対象に実施しています。各地域の住民アンケートは取っておりません。公民館の利用率をどうやって上げていくか、また各地域の要望をどうやって吸い上げ、どう活かしていくかということも含めて今後の課題として検討をする必要があるかと思います。</p>
小林議長	<p>佐藤委員がおっしゃられた地区住民に対するアンケートは、公民館に対する要望等々が見えてくることによって公民館の利用率向上につながるのではないかという御提案です。</p> <p>社会教育委員の中にも各地区公民館を代表してお出になっていらっしゃる方もおりますので、地域住民の要望なりニーズをお聞きになってこの公民館運営審議会に持ち寄っていただければ、その役割の一端は果たせるというふうに思いますのでぜひとも今後その方向で、皆様からも御協力を頂ければと思いますのでよろしくお願いします。</p>
増田委員	<p>アンケートについて、これは1つの提案ですが、学校にお願いして各児童にたよりとしてお家の人と話をしてもらって学校で取りまとめてもらうというアンケートの取り方もあると思います。</p>
米山委員	<p>栄公民館のことを考えていたのですが、栄公民館の近所には栄中学校と栄中央小学校の2つの学校があるのですが、雪や雨が降ると多くの保護者が迎えにくるので学校の前が非常に混雑します。学校との協力になりますが、迎えは公民館の前にしてもらうと生徒は歩きで公民館へ行き、公民館で勉強してから迎えにきてもらうようにすると利用率アップにもつながるのではと少し考えました。</p>
小林議長	<p>栄公民館長はぜひ参考にしてください。</p>
丸山副議長	<p>受講者からのアンケート調査ですけれども、今後やってほしい事業の要望を書く欄がありますが参加者の意見は書かれているのでしょうか。</p>
阿部係長	<p>事業実施後のアンケートは活用しています。次の社会教育委員会議においても例年年度末に、満足度調査とともに皆様にお示ししているところで</p>

<p>小林議長</p>	<p>ございます。事業のスクラップビルドにおいてもそのアンケートを参考にして、活用させていただいておりますのでよろしくお願いします。</p> <p>他にございませんでしょうか。</p> <p>各公民館長さんに本当に頑張っていたいただき、利用率の成果はこの数値に表れていると思います。まだまだ御負担をかけることもあります。私達も応援し続けますので一緒に頑張っていたきたいというふうに思います。地域の皆様もこの頑張りに感謝し、期待をしているものと思いますので今後ともお願いいたします。それでは次に進ませていただきます。急な差し替えで大変申し訳ありません。11月25日の第5回体育文化センター、総合体育館改築検討委員会に出席しましたら、皆様から意見集約をしてくださいということでしたので、(3)施設計画の基本的な考え方の意見集約に移らせていただきます。</p> <p>それでは金子課長よろしくお願いします。</p>
<p>金子課長</p>	<p><b>資料 No. 5</b> 施設計画における重ね使いの考え方について 説明</p>
<p>小林議長</p>	<p>説明ありがとうございました。皆様から今年の1月19日に改築に伴う要望ということでお伺いしました。その部分について委員の皆様それぞれ御意見をお持ちだと思いますが、若干要望に答えられないものもありますが、大まか皆様からの要望があったものについてはここに入っているという風に見受けられたわけでございます。先回の会議では基本的な考え方については改築検討委員会としては合意をいたしました。後は、重ね使いの部分で皆様から御意見があればお受けして、意見集約して会にお持ちしたいと思えます。先ほど説明されたとおりでございまして、資料5のように1つの施設の中に文化、スポーツ施設が有機的に重ね使いで利用できるというふうなイメージを持っていただければと思います。</p> <p>今までの固定観念は白紙に戻して全く新しい施設ができるというふうに思っていただけだと思います。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>マルチホールのところに椅子収納とありますが、何席ぐらいありますか。</p>
<p>金子課長</p>	<p>このホールの面積から考えますと500席が限度だろうと思っております。全てが可動式になるかどうかはまだ設計の段階ですが、後ろの席については収納されると聞いています。</p>
<p>阿久津委員</p>	<p>今の中央公民館も500席ですよ。</p>
<p>金子課長</p>	<p>そうです。座席幅は今より7cmも広く52cmになる予定です。</p>

山田館長	<p>マルチホールですが、席が半分ずつずれているような施設が実際あって、具体的には県立近代美術館の講義室です。前に座っている人と重ならないで見ることができる利点があります。構造上はできるはずなのでぜひ提案をお願いします。</p>
内山館長	<p>災害対応はどうなりますか。</p>
金子課長	<p>細かなところについては、これから詰めていくことになりますので、今後の検討となります。災害対応につきましても椅子が収納され、フラットな使い方ができますのでここも広場として対応できるようになると思いますのでそういった話が出てくると思われます。</p>
小林議長	<p>重ね使いの考え方となりますので、今、おっしゃられたようにアリーナがフラットになることにより、いかようにも災害に対応できると考えられますし、設計業者のお話ではマルチホールの部分も今までと違う発想で避難所になりうるような設計が可能だとまず始めにおっしゃっていました。災害対策や避難所としての有効的に利用できる設計が考えられるというふうに何回もおっしゃっていました。当然、昨今そういった視点は欠かせないと思います。</p>
倉品委員	<p>細かいところですけども、駐車場はどうなっていますか。</p>
金子課長	<p>細かいところはまだ決まっていません。</p>
倉品委員	<p>第二駐車場というか、予定以外で別のところに作るという視野はないですか。今でも大会になると、県内外から選手が来るとあまりにも不便だと聞くので土地の問題もあると思いますが路上駐車も困ります。</p>
小林議長	<p>駐車場については、今回の改築検討委員会で触れられなかったところですので詳細についてはこれからとなるようです。当然駐車場が必要だということは分かっておりますから駐車場対応についてある程度計画があると思っております。 重ね使いについては何かございますか。</p>
高橋委員	<p>そもそもの話ですが、かなり敷地面積が狭いということで設計図を見ても盛りだくさんの気がします。今までの体育文化センターと総合体育館の敷地のギリギリまで建てられるのでかなり圧迫感があるような形になりそうですが、設計の方で素敵なデザインでやっていただけるものと思っています。中の間取りですが、まずアリーナとマルチホールですが、お互いに同じ椅子収納ができて一体で利用も可能とのことですが、逆にホールで音</p>

楽イベントをやってアリーナで運動を行うといった別々での利用の場合、当然、それぞれで音が出ますので対策をしっかりとっていただきたいと思います。また、アリーナの周りを展示のための市民のふれあいギャラリーにするという提案もありますが、正直このイメージ写真をみると廊下にただ展示しているだけで見てくださいといっても、廊下自体に距離がありそうだし、展示ギャラリーがあっただけでは、奥まで行ってみようとなれない気がするので、もう少し人のたまり場とか更衣室や倉庫があるあたりに人が集まれるような仕掛けがあるとそこへ行くために廊下を通ることになりますので、そういったことも提案していただいたほうがいいと思います。イメージ的に何となく暗くて細長いところがぐるぐるとあるような感じがするので、せっかく建てるのであればその辺りを設計の方に検討していただきたいと思っています。あと2階のマルチスペースで工作実習室や調理室、和室が移動式で仕切りを替えることで色々使えるということですが、実際それをやれるかどうかというのは管理運営者や利用者側であって、設計の考えがそうでも実際運営される職員の方がいちいち動かすことになると思うので、運営側が本当にできるのかということも検証していただきたいと思っています。最初は移動式でしていたけれども、段々、固定になってしまうこともなきにしもあらずで、そういったところも非常に難しいところもあるのではないかなと思いますのでよく検証していただきたいと思います。

金子課長

運営についても、この後、設計がある程度決まった段階で検討を進めていく必要があります。職員もそうですが利用者が使いやすいよう、修理も含め確認していく必要があると思います。

小林議長

高橋委員がおっしゃったように完成後に、施設を運営する職員や利用者が追いついてくれるかどうかという御心配があると思います。今までは、固定の部屋だったけれど、マルチですからその用途に応じて工作室になったり、調理室になったりするわけです。そこで対応するのは私たちよりむしろ職員の方ですからそういう対応ができるかというところが恐らく求められていくと思いますし、今までのような指定管理者で対応できるかということもあります。様々な場面が展開される中で、利用者と運営者共に全く初めてのことですので、今、高橋委員がおっしゃったことが生じてくると思いますので、この件については、設計の詳細が出た段階で、要望なりをお伝えしたいと思います。

米山委員

水回りの話ですけど、最近の水道の蛇口はセンサーですが防災のケースを考えると停電時にセンサーが使えなくて水が出ませんとならないように細かいところですが、そういう点にもよくチェックしていただきたいと思っています。

鈴木委員	細かいですが、鏡のついたトレーニングルームはあるのでしょうか。
小林議長	備品等につきましてはまだ何もわかりません。平面図を示されただけですので細かいところについては一切わかりません。
鈴木委員	マルチスペースなので固定されていないから使いやすいかというとその辺が心配で、高橋委員がおっしゃったように運営になって使えなくなってしまうことにならないように慎重に進めていただきたいと思います。マルチとアリーナが隣り合わせになっていますが、お互いでイベントをやっていた場合、防音になるのか本当に心配です。
金子課長	マルチについては防音で進めています。アリーナは2階からの出入りとなります。防音については気をつけて進めていきたいと思います。
佐藤委員	完成後は、直営かそれとも指定管理者でしょうか。
小林議長	<p>まだそこまで議論が進んでいません。</p> <p>次は12月21日にまたこの改築検討委員会があります。今日皆さまから頂いたものについては整理をしまして意見集約という形でお届けしたいと思います。</p> <p>その他ございますか。事務局は何かありますか。</p>
阿部係長	事務局からイベントの御案内
小林議長	本日の議題はこれで全て終了になります。長時間大変お疲れ様でございました。